

# CITIZEN 電波時計 (デジタル掛・置兼用時計) 取扱説明書

取扱説明書番号 D009-CXY

## ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 見やすい大きなデジタル表示
- 置いても掛けても使える
- 温度と湿度を同時表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**  
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1003)

## 安全にお使いいただくために (はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### ■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

### ■誤飲による事故防止について

 小さな部品や小形の電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

### ■アルカリ電池について

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

### ■電池について

 電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 電池はすべて指定の新しい電池をご使用ください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子 (接触部) の汚れを落としてから入れてください。

### ■液晶について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### ■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃ (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。(性能が低下することがあります。)
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。**分解禁止**

 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。**注意**

## おもな製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 ±1秒以内 ●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 (常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10~+50℃ (注)
使用電池	単3形マンガン乾電池 (JIS規格 R6P) 2個
電池寿命	約1年間
その他	標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日8回 時刻表示 12時間/24時間制切り替え表示 カレンダー 2000~2099年 西暦、月日 電池交換時期お知らせ機能 温度 -9.9~+50℃ ±2℃ 湿度 25~95% ±10% (周囲温度範囲5~50℃)

(注) 0~40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。

○付属の電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。

○単3形マンガン電池の代わりに、単3アルカリ乾電池を使用できますが、マンガン乾電池と混ぜて使わないでください。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品 (電子回路・歯車等) は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品 (ケース・文字板等) の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、製品番号 (型番) 「8RZ058」をお伝えください。

## お問い合わせ先

**お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



## 6 電波受信スイッチ

電波受信スイッチをONにすると定期的に標準電波を受信し、受信に成功すると時刻およびカレンダーを自動的に修正します。

電波を受信しないで手動で時刻合わせをして使用するときは、OFFにしてください。

## 7 強制受信とリセット操作

### 強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

- 手動で時刻を設定している最中は強制受信ボタンを押しても機能しません。

## 8 静電気による誤作動

静電気の影響により誤作動し、表示などがおかしくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

## 9 温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

### 測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 「HH.H」 50℃より高温 「LLL」 -9.9℃より低温

湿度 「HH」 95%を超えている 「LL」 25%未満 「-」測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)

### 設置場所について

空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

つぎのような場所では使用しないでください。

温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中

### 湿度は設置場所により変わります

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでできます。

④本製品は室内用です。室内の温度・湿度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

## 電波時計について

### 電波時計とは

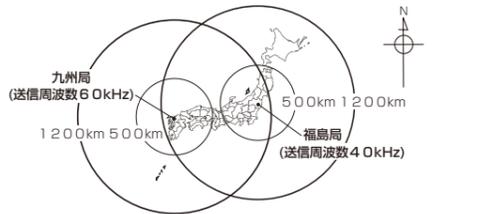
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。  
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。  
標準電波の詳細については、「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯 (昼/夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件によって受信できない場合があります。

※電波障害により誤った時刻を表示することがあります。

### 海外でのご使用について

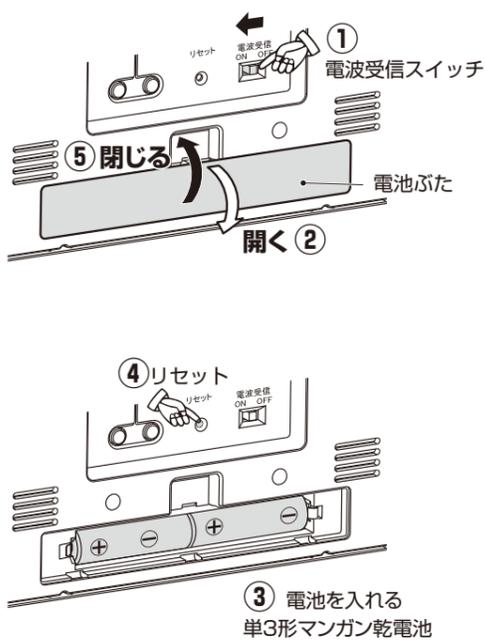
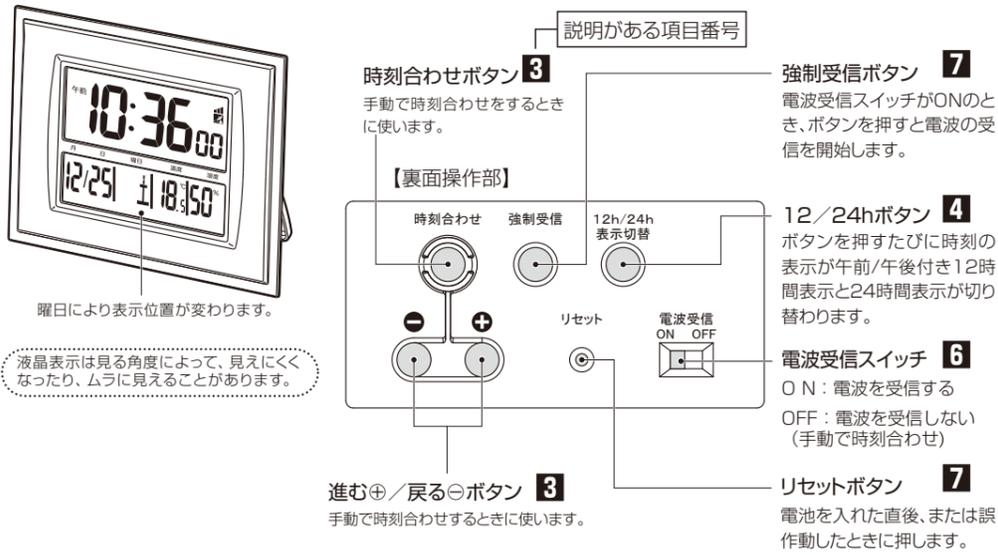
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になる際には、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻合わせをしてお使いください。

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

# 1 電波を受信して時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



手動で時刻を合わせるときには、「**③ 電波を受信できない場合**」の「手動での時刻合わせ」をお読みください。

○電波を受信しやすい窓際でご使用ください。

① 電波受信スイッチをONにする

② 電池ぶたを取り外す

③ 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れます。電池の⊕⊖を逆向きに入れると、電池からの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

④ リセットボタンを押す

ボールペンの先などで押してください。受信を開始します。

※受信中はボタンに触れないでください。

⑤ 電池ぶたを取り付ける

⑥ 約21分後に受信結果を確認する

【受信の流れと表示】参照。

## 電池の交換について

- すべて指定の新しい電池に交換し、リセットボタンを押してください。
- この時計はマンガン乾電池の特性に合わせて設計されていますので松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。使用した場合、正常に機能しない、電池寿命が短くなるなどの障害が発生することがあります。

## アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

## 受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない → 受信しやすい



## チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

# 2 時計の設置

## 掛ける

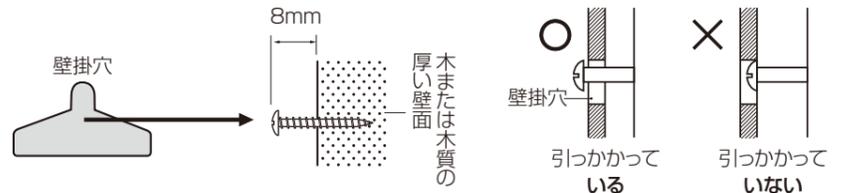
時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。

○時計を掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

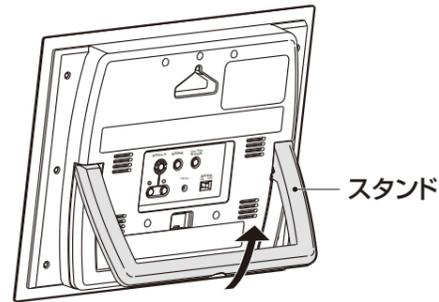


- 上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。
- 掛けて使用するときには、スタンドを閉じてください。

## 置く

置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。

※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。



スタンドを無理に引っ張ったり、荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

# 3 電波を受信できない場合

## ● 朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

## ● 場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くようにしてリセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

## ■ 手動での時刻合わせ

(1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。

(2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。

● 進む⊕または戻る⊖ボタンを押して数値を合わせます。

● 進む⊕または戻る⊖ボタンを押し続けると早送りになります。

● 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

※電波受信スイッチがONの場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。⇒「**⑥ 電波受信スイッチ**」

※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。

※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。

操作例、2010年12月25日 午前10:36に合わせる

- ① 時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけます。西暦年が点滅します。
- ② 進む⊕または戻る⊖ボタンで「年」を「2010」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- ③ 進む⊕または戻る⊖ボタンで「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- ④ 進む⊕または戻る⊖ボタンで「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- ⑤ 進む⊕または戻る⊖ボタンで「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- ⑥ 進む⊕または戻る⊖ボタンで「分」を「36」に合わせます。このとき進む⊕または戻る⊖ボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して確定します。

○時刻表示は12/24時間制がありますので、時刻を合わせるときに注意してください。

○電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

# 4 表示の切り替え

午前/午後表示付きの12時間表示 24時間表示



12時間表示と24時間表示の切り替え

12/24hボタンを押すたびに交互に切り替わります。

※電波の受信中および現在時刻の設定中は切り替えはできません。

# 5 電池交換時期のお知らせ

電池の交換が必要になると、マークが表示されます。表示されたら指定の新しい電池に交換してください。そのまま放置すると、時計は機能しなくなります。

## 電池からの液もれ注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計、壁面、家具などに損傷を与えます。時計が止まったら、電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

## 【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



受信マーク (受信中点滅)

〈受信開始〉



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2007年1月1日 午前12:00に設定される。

最長21分後  
〈受信終了〉

受信に成功すると  
受信マークが点灯

受信マーク消灯  
失敗!



(受信に成功したときの表示例)

※受信マークは24~25時間以内に受信に成功しているときに点灯します。

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。



(受信に失敗したときの表示例)

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

「**③ 電波を受信できない場合**」へ